

【第4回菅生・大塚戸地区意見交換会】

菅生・大塚戸地区がつながる

一緒に一歩前へ

START

今日の流れ

1. 自己紹介
- 2-1. 意見交換会を継続して開催する理由
- 2-2. 新たな地域コミュニティ組織の必要性
3. 第1回～第3回意見交換会の振り返り
4. 第5回意見交換会の案内
5. ワークショップ
6. 人を動かすには？誘い方のコツ



今日の話し合いのルール

・ ROPES

R	お互いを尊敬し、尊重すること
O	心を開いて
P	話したくないときは「パス」といっていい
E	共感と興味をもって/ワクワクしながら
S	みんなが安心してお話しできるように/自分の気持ちに素直に/思ったことを伝える/ユーモアをもって

自己紹介

私の名前は…です

趣味は…です！

自分が知られたくないことや
話したくないことは
話さなくてOKです！

こんなことをして
過ごしています！

最近…に
はまっています！



意見交換会を継続して開催する理由

①地域の現状

- 近隣市等への転出超過と人口減少
- 超高齢社会（高齢化率↑・出生率↓）に移行
- 単身・核家族世帯の増加

②地域の課題

- 地域活動の担い手不足
- 役員の負担増
- コミュニティの希薄化
- ライフスタイルや価値観、地域課題の多様化



③地域の今後への不安

- 10年後、20年後私たちのまちはどうなっていくのか？
- 大規模災害が起こったら助け合える体制はできてるのか？
- お祭りなどの伝統文化を継承していけるのか？
- 子供や高齢者の見守りは誰がやってくれるのか？



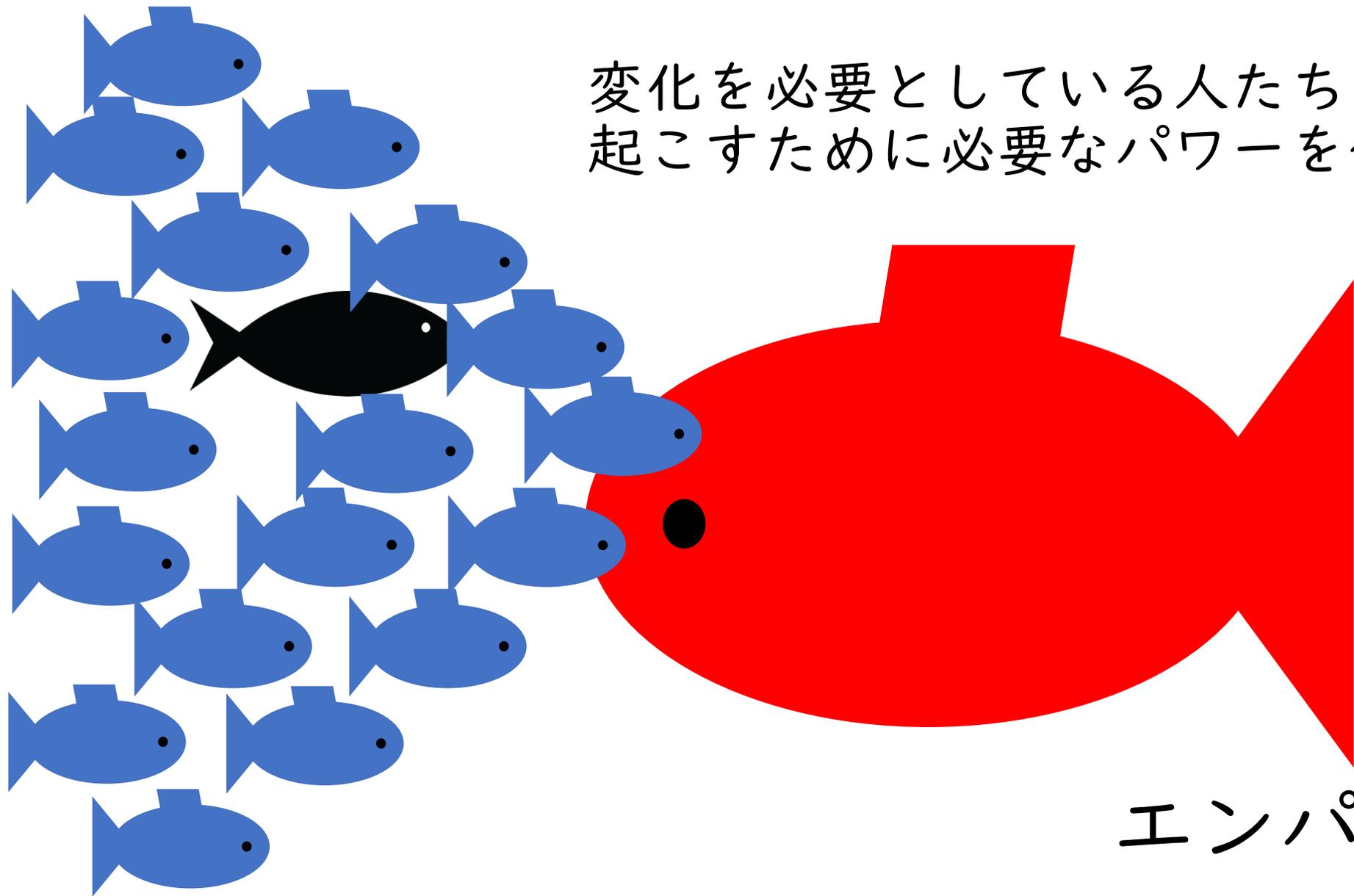
様々な不安を解消し、誰もが将来にわたって
安心安全で住みよいまちにするために

意見交換会を実施



新たな地域コミュニティ組織の必要性

変化を必要としている人たちが自身が、変化を起こすために必要なパワーを作り出すため



エンパワメント

地域の人・組織・団体・機関がつながると、

まちづくりに必要なパワー

が生まれる

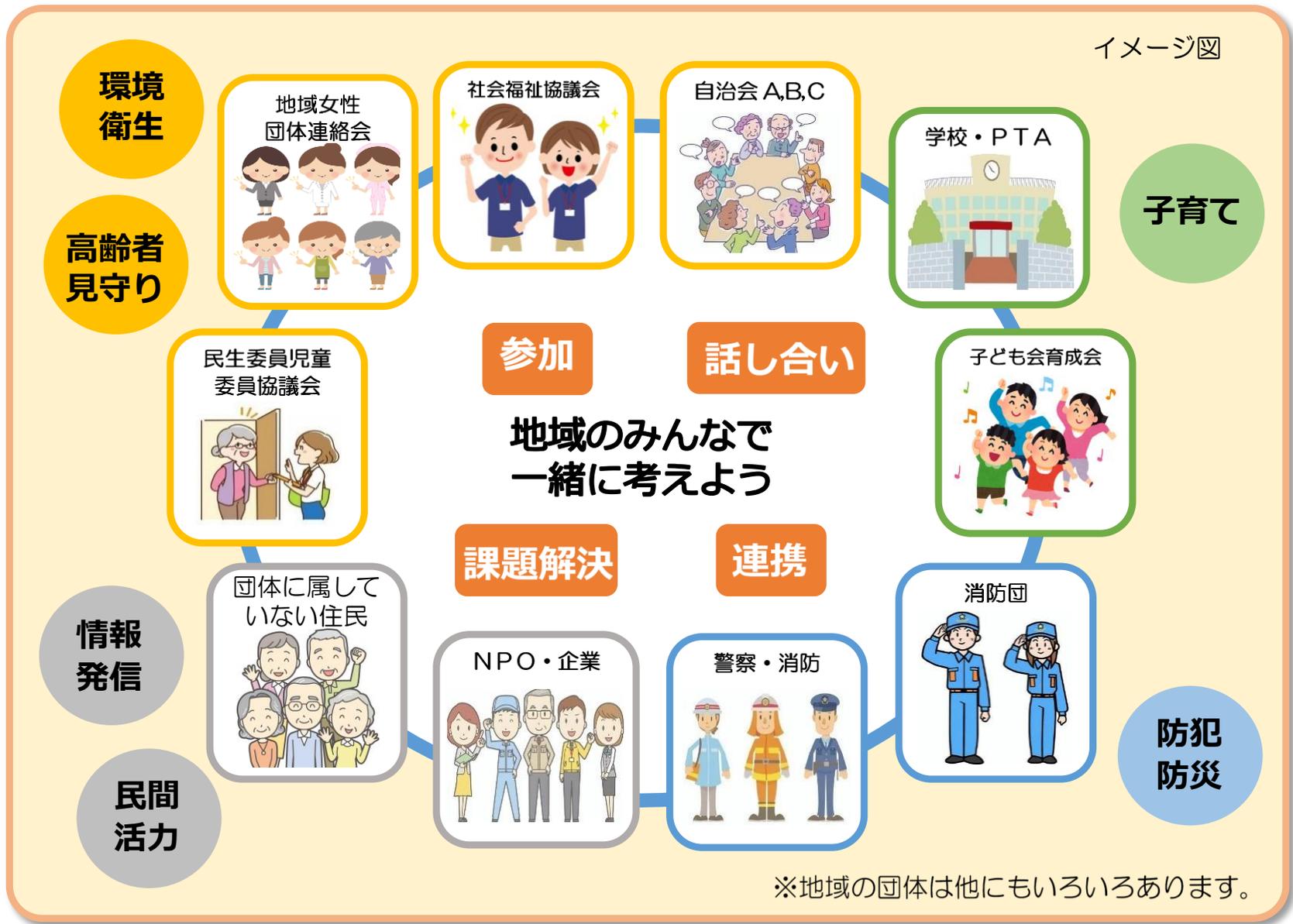
目指す新しい地域コミュニティ



負担
軽減

活動の
効率化

活動の
継続



地域との
関わり

生き
がい

つな
がり

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

【菅生・大塚戸地区】

1	道路や通学路の危険箇所、通学路の見守りが必要
2	お店が少ない
3	子供が遊べる場所がない
4	ゴミの出し方について
5	地域のつながりについて
6	獣害
7	公共交通について
8	子供が少ない
9	子供たちが元気に挨拶してくれる
10	菅生沼に白鳥が来ている

【全体】

1	地区内のコミュニケーションが取れていない
2	道路の危険箇所、道路の除草
3	ゴミ問題（ゴミの捨て方、産業廃棄物の捨て方等）
4	子供が少ない
5	役員の担い手不足
6	空き家問題（空き家の増加、防犯、火災）
7	買い物問題（お店が遠い等）
8	高齢者の増加、一人暮らしの高齢者の増加
9	公共交通（移動問題、コミュニティバス）
10	祭りやイベントがない、参加者少ない



2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

【菅生・大塚戸地区】

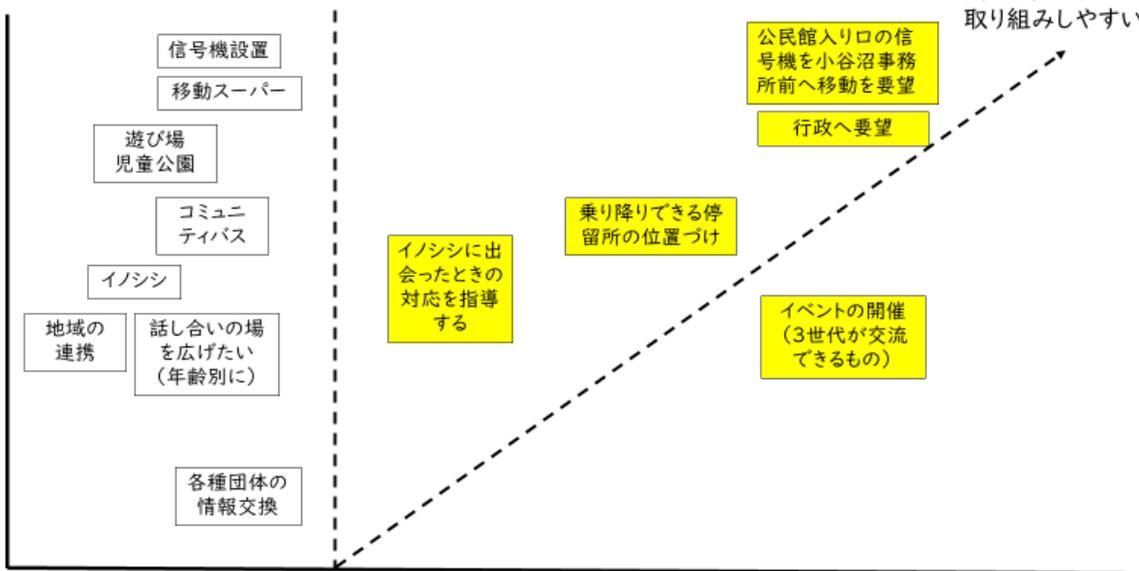
1	公共交通が充実しているまち
2	買い物が便利なまち
3	子供が一人で歩ける安全なまち
4	子供が遊べる場所があるまち
5	地域が連携して活動できるまち
6	道路がきれいなまち
7	害獣がでないまち
8	災害に強いまち

【全体】

1	地域内でコミュニケーションが取れるまち、つながりがあるまち
2	公共交通があるまち、交通の便がいいまち
3	買い物が便利なまち
4	子供たちが安心して過ごせるまち、子供の元気な声が聞こえるまち
5	医療・福祉が充実したまち、バリアフリーなまち
6	災害時に助け合えるまち、災害に強いまち
7	自然環境が豊かできれいなまち
8	老後も安心して暮らせる高齢者が元気なまち
9	安心して楽しく子育てができるまち
10	お祭りやイベントが楽しめるまち

グループ1 【関心のあること】

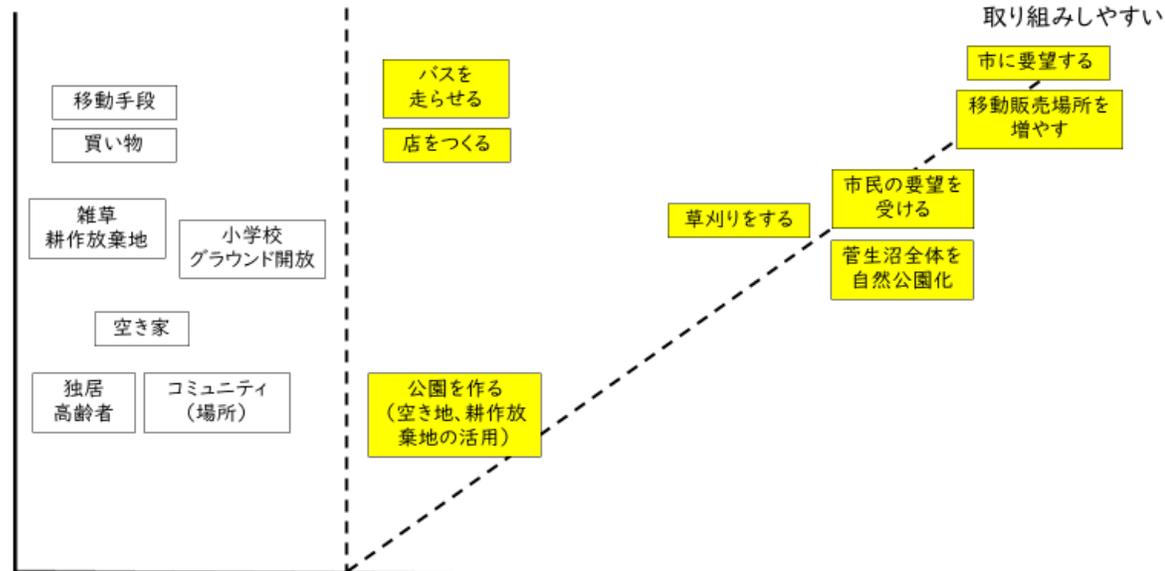
関心が高い⇓低い



取組みしにくい⇔しやすい

グループ2 【関心のあること】

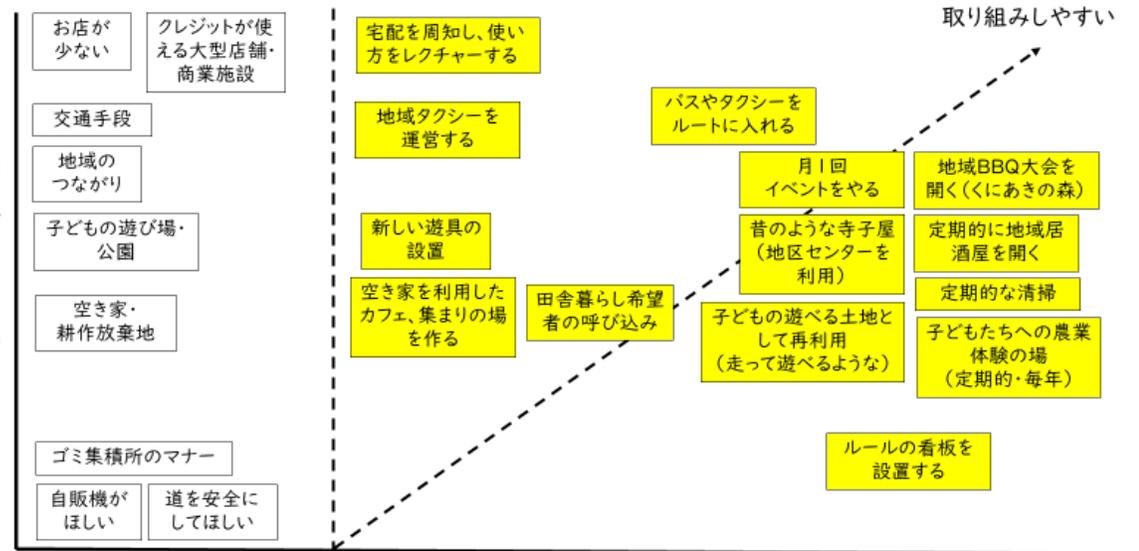
関心が高い⇓低い



取組みしにくい⇔しやすい

グループ3 【関心のあること】

関心が高い⇓低い



取組みしにくい⇔しやすい



菅生・大塚戸地区
第2回意見交換会
令和5年2月26日

菅生・大塚戸地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会
- 防犯協会
- NPO法人



グループ1

団体の現状・抱える課題

<各種団体共通?>
・メンバーの減少
・高齢化
・活動資金不足

<子供会>
会員の減少

<管生地区>
通学路の防犯
子供が少ない地区
がある

団体が連携して
取り組んでいること

<青少年育成市民会議
+子供会+PTA>
親子デイキャンプ

消防団の出動人数を増員
するために、経験者に
応援団員になってもらう
(管生1名、大塚戸1名)

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

自治区レベルと地区レ
ベルの自主防災組織を統合

防犯協会と
交通安全協会との連携

各団体における現状課題
等の情報交換をすること
で、団体での課題解消の
参考とする

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ2

団体の現状・抱える課題

災害時の緊急避難所
管生地区4か所は少ないの
では?

廃品回収実施が困難
・子どもの減少
・軽トラの確保が困難

<消防団>
なり手がいない

<地域女性団体連絡会>
加入率の低下

<交通安全母の会>
高齢の為、立哨が出来なく
なっている

団体が連携して
取り組んでいること

自治会が協力して廃
品回収の実施(古谷
地区)

<自治会+青年会+氏子+子供会>
子供相撲大会

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

困っていること、問題解決
協力依頼等のコーディネ
ートをする部署があるとよ
いすぐやる課、なんでもや
る課を作してほしい

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ3

団体の現状・抱える課題

<子供会>
・少子化による会員減少
・役員をやる回数が多い
・イベントをやっていない

<子供神輿会>
・少子化による担ぎ手不足
・役員の手不足

<らっこ会>
活動停止中

<PTA>
少子化による
会員数の減少

<芸能保存会>
・担ぎ手不足
・高齢化

<自治会>
・加入率低下
・若い人が少ない

団体が連携して
取り組んでいること

<子供会+青少年育成市民
会議+自治会?+消防団>
どんど焼き

<自治会+青年会+氏子+子供会>
子供相撲大会

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

<子供神輿会(大塚戸)+らっこ会(管生)>
担ぎ手不足の解消、
活性化、賑わいの向上

<子供神輿会+芸能保存会>
担ぎ手不足の解消、活性化、
賑わいの向上

<子供神輿会+子供会>
お祭り、全地区の交流の場

<子供会+自治会>
資源回収の協力

<PTA+防災組織+学校>
防災スポーツと運動会の融合

<自治会+子供会>
世代交流イベント(お祭り、居酒屋)

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ4

団体の現状・抱える課題

<自治会>
関係の希薄化

<自治区長会>
経験(者)期間の短期化

<子供神輿会(大塚戸町)>
子どもの減少

<各種団体(PTA、青少年育成市
民会議、子供会など)>
役員の不足

団体が連携して
取り組んでいること

今後、団体が連携して
取り組めそうなこと

<自主防災組織+消防団>

<子供会+青少年育成市民会議>
イベント協働事業

<大塚戸子供神輿会+日枝神社総代>

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

< 団体の現状・抱える課題 >

- PTA
・少子化による会員数の減少
- 自治会
・加入率低下
・若い人が少ない
・関係の希薄化
・自治区長会の経験期間の短期化
- 子ども会
・少子化による会員減少
・役員をやる回数が多い
・イベントをやっていない
・廃品回収実施が困難
- らっこ会
・活動停止中
- 子供神輿会
・少子化による担ぎ手不足
・役員の担い手不足
- 交通安全母の会
・高齢の為、立哨が出来なくなっている
- 地域女性団体連絡会
・加入率の低下
- 消防団
・なり手がいない
- 各種団体共通？
・メンバーの減少
・役員の担い手不足
・高齢化
・活動資金不足

< 団体が連携して取り組んでいること >

- 青少年育成市民会議+子供会+PTA : 親子デイキャンプ
- 自治会+子供会+青年会+氏子 : 子供相撲大会
- 自治会+子供会+青少年育成市民会議+消防団: どんど焼き
- 自治会が協力して廃品回収の実施

< 今後団体が連携して取り組みそうなこと >

- 子供神輿会(大塚戸)+らっこ会(菅生)
: 担ぎ手不足の解消、活性化、賑わいの向上
- 子供神輿会+芸能保存会
: 担ぎ手不足の解消、活性化、賑わいの向上
- 子供神輿会+子供会
: お祭り、全地区の交流の場
- 子供会+自治会: 資源回収の協力、世代交流イベント
- 子供会+青少年育成市民会議: イベント協働事業
- PTA+防災組織+学校: 防災スポーツと運動会の融合
- 自主防災組織+消防団
- 大塚戸子供神輿会+日枝神社総代
- 防犯協会+交通安全協会
- 自治区レベルと地区レベルの自主防災組織を統合
- 各団体における現状課題等の情報交換をすることで、団体での課題解消の参考とする

第5回意見交換会を
令和6年12月7日（土）開催！

第6回意見交換会の内容を
皆さんで決める予定です

例えば…

1 地域の皆さんはこの地域をどう感じているか 調査してみよう！

地域住民を対象としたアンケート調査を行ってみましょう！



2 皆さんが暮らす地域を知ろう！

地域の情報（地区の人口・各種団体の活動状況・地域の課題・行事・年間スケジュールなど）を整理してみましょう！



3 イベントをやってみよう！

小規模なイベントを企画・立案・準備・運営してみましょう

など



子供たちにも参加
してもらいたい！

参加者の人数を
増やしたい！

年齢や性別を問わず、多様な住民が参加する
意見交換会にするには…？

若い人をもっと
巻き込みたい！

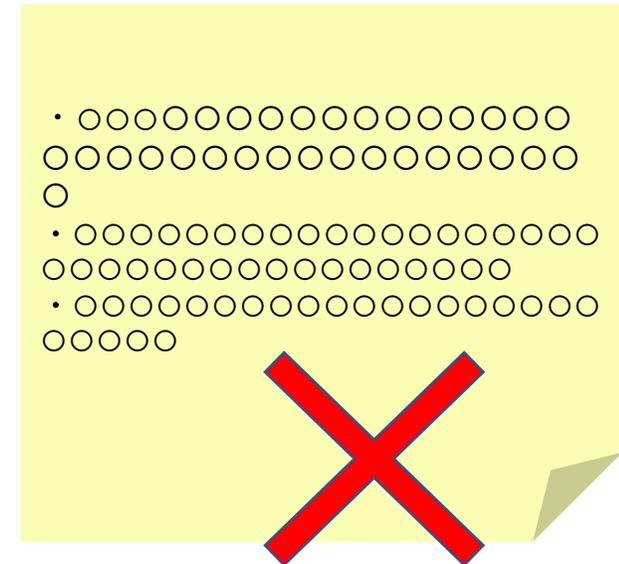
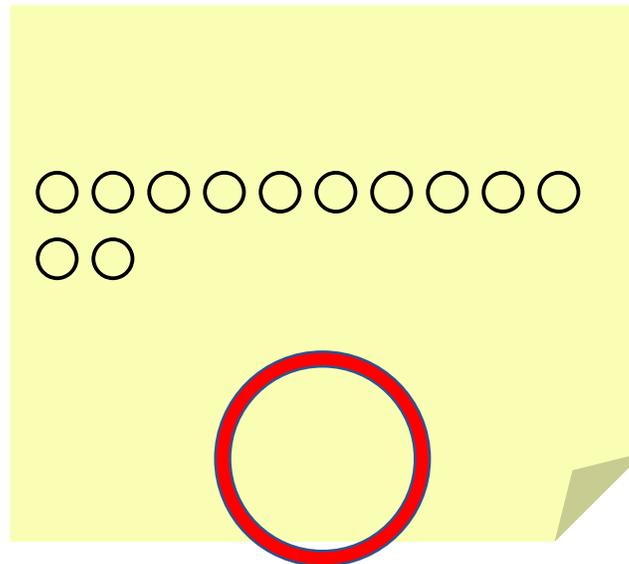
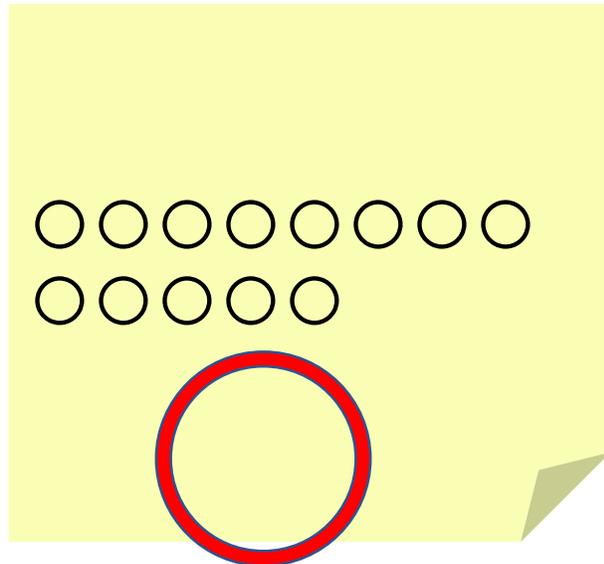
いろんな人の
意見が聞きたい！

皆さんで
話し合ってみましょう



ふせんの使い方

- 短いメッセージで=大きな文字になります
- メンバーに見やすいように



ワーク 1

どんな人に意見交換会に
参加してもらいたいですか？



ふせんに書き出しましょう！

小学生

中学生

地域で活動
する団体の
代表者

子育て世代

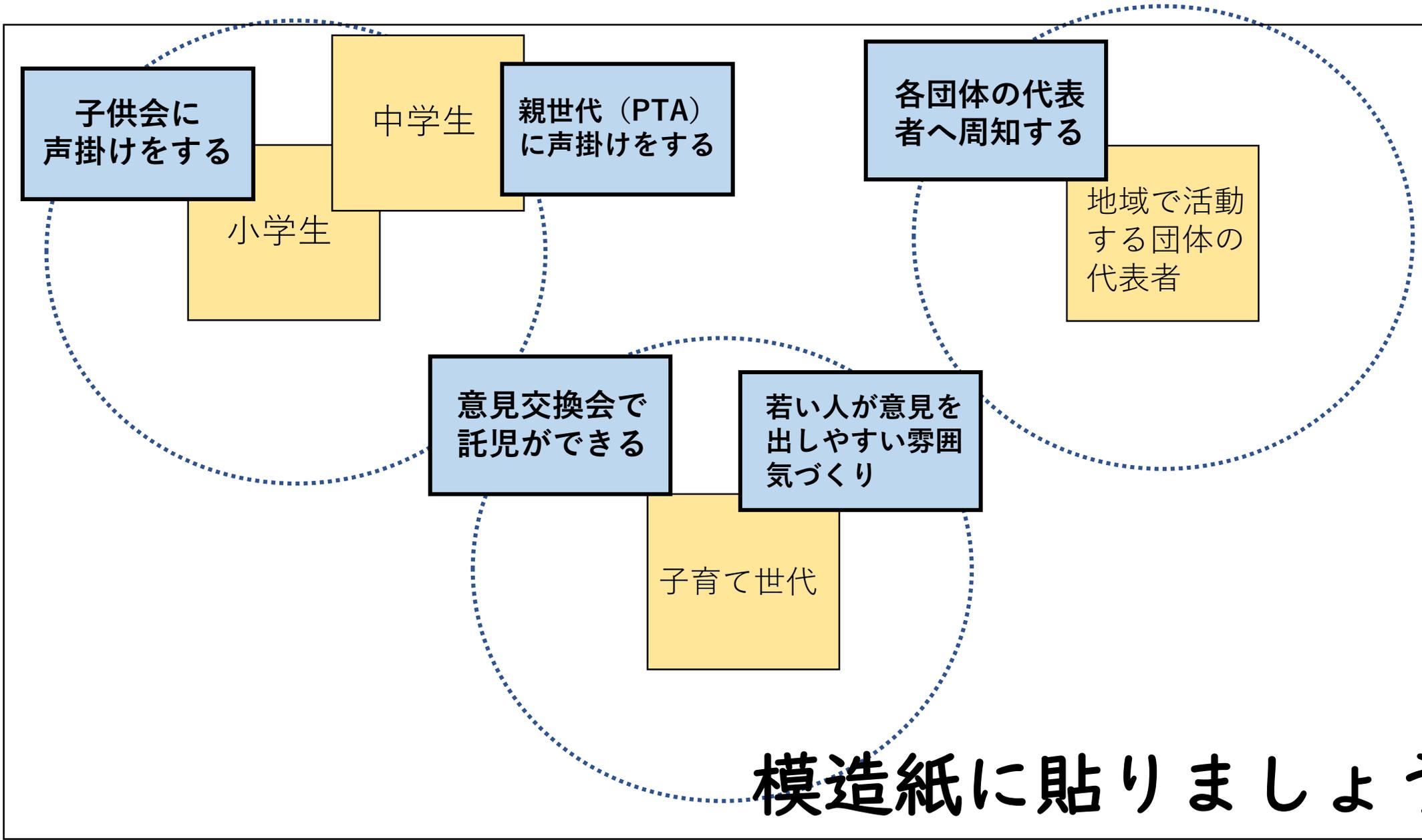
模造紙に貼りましょう！

ワーク 2

その人に意見交換会に
参加してもらうには
どうすればいいのでしょうか？



ふせんに書き出しましょう！



模造紙に貼りましょう！

ワーク 3

あなたは、
誰に声掛けをしますか？



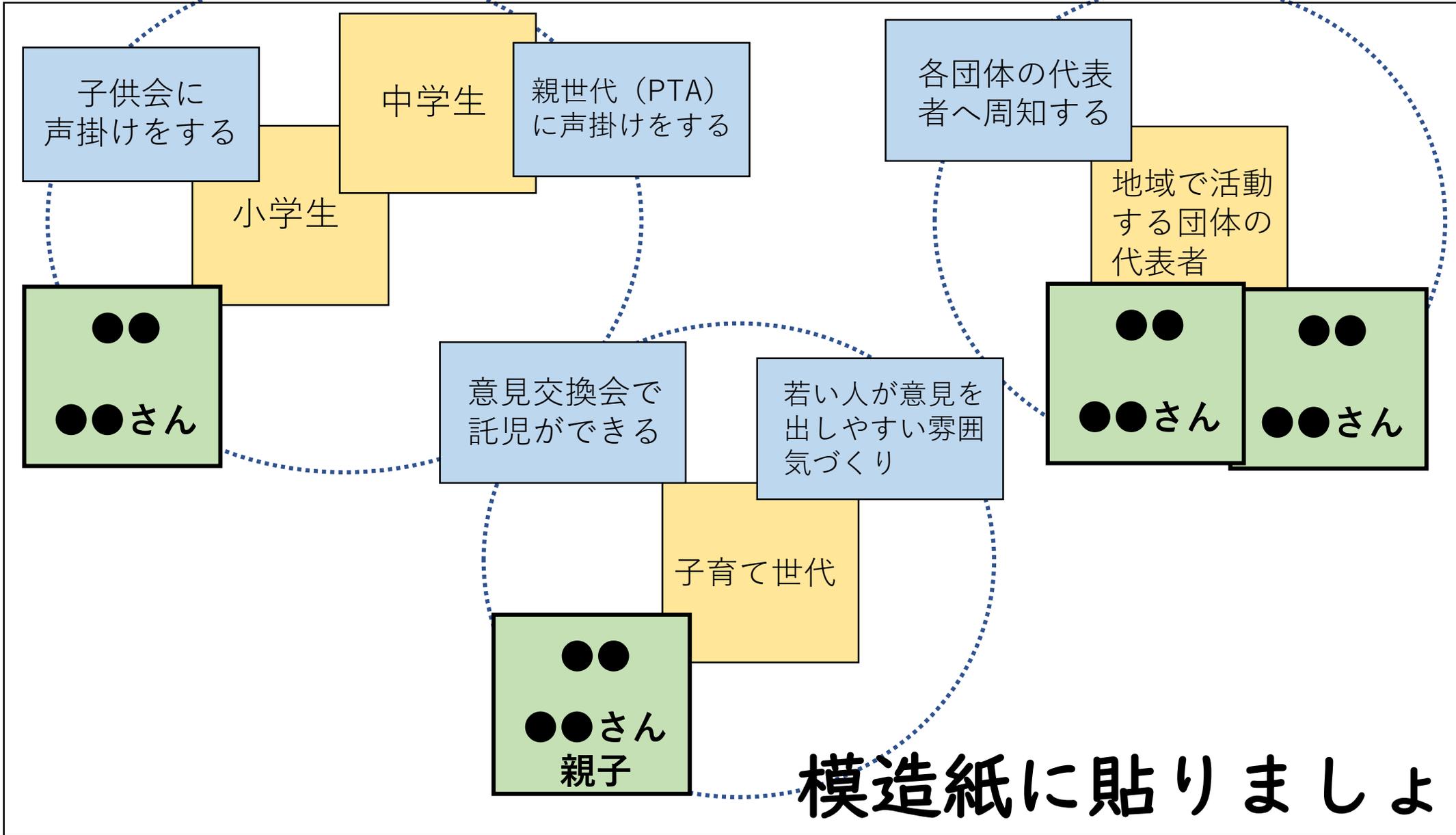
(自分)



(声を掛ける相手)



ふせんに書き出しましょう！



人を動かすには？

• ハート（共感）

活動の必要性や存在意義について、共感できる。

• ヘッド（戦略）

活動の戦略が具体的で、目標を達成できる可能性が高いと感じられる。

• インタレスト（利益）

自分に利益があると感じられる。同じ問題の解決に関心がある。

関係構築は1対1での対話を大切にする

1. 注意を引く

なぜあなたに声をかけたのか？

2. 興味を持ってもらう

お話をする目的を伝える

3. 探求する

相手の持つ価値観や関心、資源を知る

関係構築は1対1での対話を大切にする

4. 交換する

関心、資源を交換する

5. 約束する

次にいつ、どこで、何をするか約束する

誘い方のコツ

1. お互いを知り合い、つながりをつくる

自分がなぜこの問題を気にかけているか知ってもらい、相手がどうかを聞く

2. 緊急性・背景を伝える

どのような活動をしていて、その活動にはどのような可能性があるのかを伝え、その問題についてどう思うかを聞く

誘い方のコツ

3. 活動に参加してもらえるかをはっきり聞く

日にち・時間・場所について具体的に伝え、参加してもらえるか聞く。断られても連絡先を伝えておく

4. 参加を約束してくれたら、仕事と責任を お願いする

イベントに〇〇を持ってきてもらおう、イベント前に打ち合わせがしたい、友達をふたり連れてきてほしい

<第5回意見交換会>

- 日程 令和6年12月7日（土）9時30分～
- 会場 菅生公民館 ※変更になる場合は、改めて周知いたします。
- 内容 意見交換会に参加する人を増やすための手法を実践して、第6回意見交換会の内容を地域の皆さんで検討してみましよう！

第5回意見交換会に向けて
声掛けを実践してみましよう！

